

神奈川県梨教会連合会より

かりん

「神様は無駄事はなされない」

○今年の春、お兄様で前教会長の紀代士先生がお亡くなりになりましたね。

健雄先生（以下…健）…はい。今年の四月三十日に亡くなりました。前日は藤沢教会の大祭で、三代教会長の父の十年祭でしたが、大祭では祭主の御用を任せさせて頂いて、終わった後も変わった様子もなく、いつも通りでした。

三十日の朝、私はいつも通り朝のご祈念を致しました。いつもならご祈念にお広前にくるのですが、時間になっても来られず、信者さんと「昨日のお疲れが出たのかな？」と、思っております。

その後、八時半に人工透析に行くための介護タクシーが来たので、声をかけに行きました。部屋に入ると、部屋の電気もテレビもついていて、着替え途中のままベッドに倒れていました。すぐ救急車に来てもらいましたが、心臓が止まっていて、そのまま…。

○急にお亡くなりになられて大変でしたね。でも、紀代士先生は大祭と先代の十年祭の御用をちゃんと最後まで終えられたのですね。

健…先代の父の十年祭に間に合うよう、記念誌の発行などバタバタ忙しくしてたので、終わって疲れが出たのと、ホツとしたのかもしれませんね。

○健雄先生も大変でしたでしょう。いきなり

教会長がお亡くなりになられて、色々大変だったのではないですか。健…前日まで元気だったので、本当にびっくりしました。しかし、約

川でスベって山でコロんで…とってきました

Interview

第 41 回 藤沢教会 高橋健雄先生



十年前に、父、兄と立て続けに入院になった頃から、ある程度の覚悟はありました。

若い頃は、自分は次男だし兄も御用してる

し、自分は藤沢教会の一信者でいいだろう、など思っていました。大学卒業後もサラリーマンになり、普通に結婚し一般家庭をもちました。

それでも、五十歳に心臓の大手術、五十三

歳では脳梗塞と続けて病気になるました。脳梗塞の時は、もう助からないと家族が病院に呼ばれる程のところを助けていただきました。その頃に、神様から「なぜ助かるのか考えよ」と言われたように感じていました。

○脳梗塞にかかると、後遺症などが出るのではないですか？

健…おかげさまで体は動くし、しゃべったり考えたりに不具合はないのですが、体の左半分と顔の右半分は表皮の皮膚感覚（熱い・冷たい・痛いなど）がありません。歩くと筋肉が動き熱が出るのですが、普通なら皮膚が熱さを感じて汗を流して温度を下げるのですが、その機能が壊れてるので熱がこもり、足の内部がやけどのような症状の後遺症が残りました。後、走ることが出来ず、重いものが持てなくなりました。

それでも、御用させて頂けるだけの体のおかげを頂いております。若い頃は、教会の御用はしたくないな、と思っていました。今は本当にありがたく御用させて頂いています。

○学院に行かれたのは、ご病気の後ですか？
健…そうですが、この件も本当におかげを頂いた話があります。

平成十六年、父、兄と入院し、いよいよと思ひ教師の資格を取らせて頂くことにしました。鶴見の桜井信一先生が「特科の一ヶ月でいいから、ご本部で修行させて頂くといいよ」とアドバイス下さり、一ヶ月月光学院に入学させて頂くことになりました。

(4 ページ中段へ)

教師信徒共励会が開催されました

去る六月十八日（土）、生麦教会において教師信徒共励会が開かれました。参加者は二十六名でした。

開会行事に引き続いて、三名の方の発表がありました。以下に、その内容を簡単にご紹介します。

○川原紀子さん

「教会に生まれて育てられ」

教会子弟として、どんな難儀の時も、神様にお任せする信心を教えられ、病氣・けがなども御神米とお神酒だけでほとんど薬を飲んだ記憶がない。信心しているので御神米がある事で安心感がある。

外に出る機会を頂き新しい方に金光教の話をしていく役目を与えられたと感じている。

○今村則子先生

「教会にお嫁に来て」

信徒である両親の信心に導かれ大阪の扇町教会へ参拝し、子供の頃から教会で吉備舞・参者の御用をしていたが高校三年の時、金光教扇町教会へ今迄のお礼をお返しする気持ちが高まり、卒業後、学院へ入り二十二歳で生麦教会へ嫁いできた。

子供達へ①心豊かに育つ②お蔭を感じる心を持つ③お参りをする④色んな人に道を伝える人になって欲しいと思っている。

○今村誠先生

「在籍教師という立場で」

若い頃、人に迷惑をかける事ばかりしていたが交通事故を起こし、目が覚め金光教のお蔭を感じ、学院へ入り教師へお取立てを頂いた。

最近、葬祭の仕事を通して、仕事仲間が本教を理解してくれ、地鎮祭等の依頼もある。本教のファンを作っていきたい。

続いて、三名の発表を踏まえ、参加者が自己紹介と感想を述べ合った。

その中で、未信奉者が扉を開けて他人の家（教会）に入るのは非常に勇気が必要、何か検討の余地はないか…との前向きな提言が印象に残った。

報告 堀端 肇（藤沢教会）



○かりんの輪

「朝参りと私」

相模原教会 山田初子

朝には弱い私だが、朝参りは好き。年中無休というのも魅力的だ。

清々しい空気を胸一杯に吸い込んで、桜、つつじ、バラ、紫陽花と、季節の流れに応じて咲く花の道をお教会へ歩く。小鳥のさえずりも聞こえ、真にぜいたくな参道だ。ここ座間の「新生さくら道」は五十五年前は小川だったとか。その両脇に桜が植えられ、長年、桜並木道として親しまれてきた。老木となったので五年前に切り倒され、その跡に何十種類もの桜の木が植えられた。それと草花も。今では見事な散歩道となっている。

朝参りを始めさせて頂いて何年になるだろう。始めは夫の転勤に伴ってお引き寄せ頂いた長崎の鶴港教会であった。そこでは近所、親せきの方達が誘い合って朝参りをされていた。私も当然の様に次の日から朝参りを始めた。その中のおばあさんは、「私はメグリが深いから、日に何度もお参りしている」と仰っていた。

その後も転勤の度にその土地のお教会にお引き寄せ頂き、鎌倉教会にもご縁を頂いた。当時、夫は「うつ病」を発症していて私は第

やはりお目当てはお花でしょうか。大磯はいつになく賑わっていました。バラが美しいと聞き、オープンガーデンに合わせて地域交流会を計画させていただきました。皆さんの日頃の行いせいか、お祈りのせいか、お天気に恵まれお花の見頃にもぴったりに合わせていただき、14人で楽しく有意義な一日を過ごさせていただきました。

今回は、大磯教会の岡さんと小島さんにご案内していただき、全てお任せで、参加者はみんなのんびりと和気あいあいおしゃべりをしながらブラブラさせていただきました。しかも、お食事処や甘味処など、地元の人でしか知り得ないとおきのお話も聞かせていただき、大磯がより身近なものとなりました。かの有名な村上春樹さんもこの町で執筆しているそうですよ。

散策は澤田美喜記念館からスタートしました。熱心なクリスチャンだった澤田さんは、江戸時代の禁教令にも屈しなかった隠れキリシタンの遺物を集め資料館として後世に伝えられています。また、エリザベス・サンダース・ホームを創立し、混血孤児の救済をされました。現在は、親と一緒に生活するこ

信徒部地域交流会報告

花に誘われて大磯散策

平成28年5月15日開催

とが困難な家庭の子どもたち80人が生活しています。ちょうど私たちは、その子どもたちのお祈りの声を耳にしながら見学させていただきました。同じ信仰をしている者としていろいろなことを考えさせられました。

当初、城山公園で食事をすることにしていましたが、旧島崎藤村邸を出て休憩するところ、急遽お弁当をという全員一致の意見により、ゆつくりと休むことになったのです。この行き当たりばったりもなかなかでした。

それから旧吉田茂邸跡まで、お花を愛でつつ、新島襄など政財界ゆかりの場所を見ながら、かなりの時間を歩きましたが、乗り物を利用することもなく、みんな目的地に辿り着くことができました。そこは、色とりどりのバラが咲き誇っていて、大勢の人とともに満足のひとときを過ごさせていただきました。

小田原教会の2才の百々佳ちゃんをはじめ、めったにお目にかかれない奥様といっしょにご参加もあつて、和やかでうれしい散策でした。ありがとうございました。

報告 吉岡裕子

(鎌倉教会)



三子を身ごもっていた。小西先生は身を挺して励ましてくださった。そのうち、私はフリーマーケットで自転車を手に入れ、朝参りを再開した。「苦しければ勇め」というみ教えが頭にあつた。朝参りが生きたバネになって、新しい一日を始めることができたのは確かだ。

「うつ病」は雲をつかむようなもので、一生つき合っていかなければならないものと覚悟した。

現在の相模原教会には、二十五年間お世話になっている。初代の田島先生の後を受けて、十二年前から安達先生が御用してくださっている。先生は一年の初め、月の初め、一日の初めを大切になさっていて、特に朝参りでは力を頂き有難い。

「こんな事になつて、どうしよう!」と思うようなことがあつても、お取次を頂くと、良い方向へと導かれる。何度もそういう経験をさせて頂いて、やっと神様のご恩を分かって頂いてきている。

夫は定年退職後、おかげを頂き第二の仕事に生き甲斐を持って元気に出かけさせて頂く。その夫を朝五時に祈りながら見送り、朝参りへ行けるこのお繰り合わせ!

今朝もお取次を頂いて気分もスッキリ。帰り道、会う人毎に「おはようございます!」とあいさつを交わし、一日のスタートだ。

平成 28 年 神奈川山梨教会連合会

生神金光大神大祭日程

教会名	日 程
甲府教会	10月16日(日) 13時30分
鎌倉教会	10月23日(日) 13時30分
登戸教会	10月23日(日) 13時
横浜西教会	10月23日(日) 13時30分
大明教会	10月30日(日) 13時30分
横須賀教会	11月3日(祝) 13時30分
生麦教会	11月3日(祝) 13時
丸子教会	11月3日(祝) 13時
相模原教会	11月3日(祝) 14時
平塚教会	11月5日(土) 13時
子安教会	11月6日(日) 13時30分
鶴見教会	11月11日(金) 13時
武蔵小杉教会	11月13日(日) 11時
大磯教会	11月14日(月) 13時
野毛教会	11月19日(土) 13時30分
小田原教会	11月23日(祝) 14時
神奈川教会	11月26日(土) 11時30分
藤沢教会	11月28日(月) 11時
津久井教会	未 定
南甲府教会	未 定

(↓ 1 ページ下段より)

いよいよ入寮当日の朝、教会に出立のお届けに來ましたら、父が急に倒れてしまいました。結局学院には行けなくなり、「どうして御用させてもらおうと入学を決意したのに、こんなことになってしまったのか…」とその時は思いました。

すぐに、神奈川の福田俊雄先生にお届けしたところ「私たち人間じゃわからないおかげを、神様から頂いたんじゃないかな。そのうちわかるから。」とのご理解を頂きました。

その後すぐ、私が二度目の脳梗塞にかかり二週間後に退院してすぐ、今度は母が入院しました。

学院に行つていけば、大変なことになっていたと思われず。神様は先の先を見越しておかげを下さるのだな、と実感しました。「神様は無駄事はなされない」と言われますが、まさしくその通りだと思います。

神様からおかげを頂いているこの命を大切に、日々御用を仕えさせて頂きたいと思えます。

○ありがとうございました。(今村則子)

訃 報

藤沢教会長高橋紀代士先生が、四月三十日にご帰幽になりました。七十六歳でした。謹んで、これからの御霊様の立ち行きをお祈り申し上げます。

「亡き主人と共に」

甲府教会 志村絢子

主人が亡くなって間もなく五年になります。教会の秋の大祭も夫婦で元気にご奉仕させて頂き、ほっとしていたある日、夜中にふと気が付くと、主人が窓際に座つて一生懸命お祈りをしていました。それから布団に戻ると、私に「長い間お世話になったなあ、ありがとう」と言ったのです。私は、何だか別れの言葉みたいで「お父さん、そんなこと言わないで早く休んでください」と言ったことを覚えています。

それから数日後、急に体調を崩し入院しましたが、さほど苦しむこともなく、見舞いに來た親しい親戚の方には「信心するように」とか「教会を頼む」というようなことを言い、ひと通りお別れができるかと安らかにお国替えしました。

主人は、子供の頃から先代の武男先生を父親のように慕い、何につけてもお取次を頂き、シベリアから無事に帰還して私と結婚したのも、まだ子供が小さかった時、交通事故で命がないような大けがをした時も、みな神様と先生のお陰で道が立つようにして頂いたことを忘れず、生涯、教会や社会のために尽くしました。

主人の好きなみ教えは、「信心辛抱 先樂しみ」で、あまり怒ったことはなく、実意丁寧信心を地で行くような人でした。

私は今、ちよつとした不注意で股関節を骨折し病院でリハビリ中ですが、主人がいつもいっしょにいて励ましてくれていたと思ひ、又、真幸先生が持つてきて下さった「拝詞」をあげ、「天地は語る」のみ教えを一つ一つ覚えながら何事も信心の稽古と思つて頑張っています。

金光教神奈川山梨教会連合会

発行者 福田 光 一

〒 221-0057 横浜市神奈川区青木町六一二十五

金光教神奈川教会内